



米丸文武議員

企業団体との支援協定は

町長／懇談会等で打診を

災害対策

米丸 災害時や地域活動等に、企業団体による協力支援体制を整えるため、地域支援協定を進める考えはないか。

町長 鹿児島県と市長会・町村会と県内市町村間

で、災害時等の相互応援協定の締結を検討中であります。

一般企業との協定は、即適応できる企業と困難な企業もあり、課題もあるので町内企業懇談会等で打診します。

公民会等の地域支援協定は

町長／今のところ考えていない

米丸 公民会等が相互に協力支援しあう体制の方策として、地域支援協定を進める考えはないか。

町長 支援協定を結ぶ考えは、今のところありません。

しかし、非常事態においては、隣接する各公民会等を中心に、お互いの連携を図り、支援していくことが望まれます。地域と一体となった取り組みを、ボランティア精神で賛同を得ることが共生・協働と言えると思います。



4月に設立された「さつま町ものづくり企業振興会」

どうなったあなたの 請願・陳情

採択

教育予算の拡充を求める意見書の採択要請について

◎請願者

趣旨 このままの教育を考える川薩連合会会長 外山一正
金の負担割合が2分の1から3分の1に縮小されたこと、地方交付税削減の影響、厳しい地方財政の状況などから、自治体独自に少人数教育を推進することには限界があります。

意見書

○ 陳情の趣旨に沿った「教育予算確保に関する意見書」を文部科学大臣ほか関係大臣に送付しました。

採択

リハビリテーション打ち切りの実態把握と改善のため政府への意見書提出を求める陳情書

◎陳情者

・鹿児島県保険医協会会長 小田代憲一
・医療法人 海江田医院医師 海江田康光

趣旨 昨年の診療報酬改定で、リハビリに給付日数上限が設けられました。これにより、患者はリハビリ継続が困難になったり、遠方の施設に通所を強いられるなどの事態となっています。

意見書

○ 陳情の趣旨に沿った「リハビリテーションの診療報酬制度に関して調査と改善を求める意見書」を内閣総理大臣ほか関係大臣に送付しました。